

日本の美術

36

洋風版画 編集／細野正信

日本の美術 4

奈良国立博物館

京都国立博物館

No.36

洋風版画

細野正信 編



至文堂

日本の美術4

監修

東京国立博物館

京都国立博物館

奈良国立博物館

昭和44年4月発行 (15日発行) 昭和41年4月5日国有鉄道特別承認雑誌第2338号

No.36

洋風版画

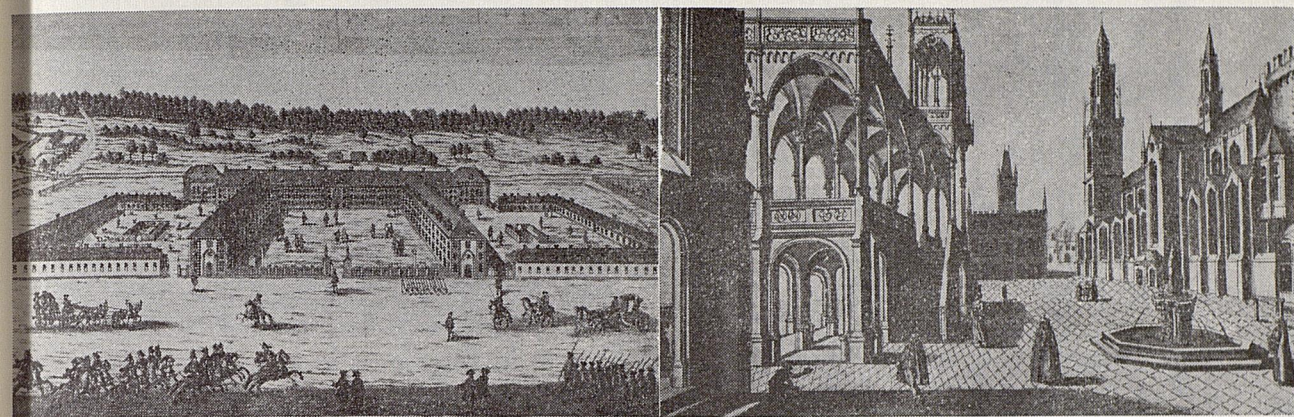
細野正信 編



- 長崎叢書（長崎略史上・下）
日本初期洋画史考
日本画の精神（日本の画論）
司馬 江漢
日本風景版画史論
長崎絵画全史
シーボルト
日本版画美術全集第六卷（長崎版画）
銅版画の技法
透視法
長崎県史料篇 第四
近世の洋画
解体新書
西洋文化受容の史的研究
日本人の西洋発見
江戸の洋画家
司馬江漢の銅版画技法の原典について（研究報告第二一六号）
近世洋画の技法的新資料（美術グラフ）
北斎・富嶽三十六景
染の型紙
菅野 陽著 昭和43年 蘭学資料研究会
井上 隆明著 昭和43年 時の美術社
菊地 貞夫著 昭和44年 保育社
北村・杉原・切畑著 昭和44年 便利堂
- 長崎市役所 大正15年 建設社
外山卯三郎著 昭和7年 東京堂
坂崎 坦著 昭和17年 アトリエ社
中井宗太郎著 昭和17年 アトリエ社
榎崎 宗重著 昭和18年 アトリエ社
近藤市太郎著 昭和19年 北光書房
古賀十二郎著 昭和35年 吉川弘文館
板沢 武雄著 昭和36年 講談社
西村 貞著 昭和37年 美術出版社
菅野 陽著 昭和37年 美術出版社
黒田 正巳著 昭和40年 美術出版社
長 崎 県 昭和40年 吉川弘文館
奈良・太田・武埴著 昭和40年 明治書房
小川 鼎三著 昭和43年 中央公論社
佐藤 直助著 昭和43年 東京堂
ドナルド・キーン著 昭和43年 中央公論社
芳賀 徹訳 昭和43年 三彩社
小野 忠重著 昭和43年 三彩社

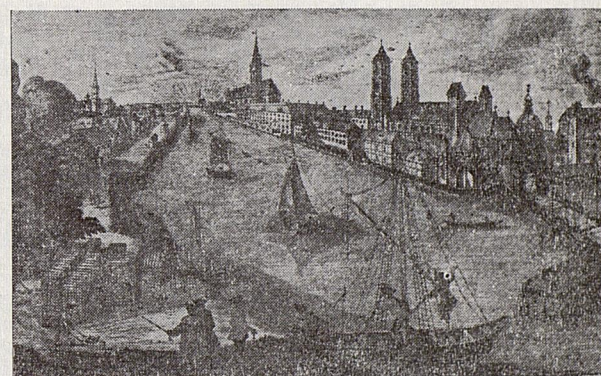
なお、定期刊行物所載、明治以降の文献については、美術研究所編『東洋美術文献目録』（二冊）（柏林社書店・中央公論美術出版部）に多数紹介してある。

参考文献



第5図 ベルリン王立廃病院

第4図 ベニスの近代寺院建築と市場遺址の眺め



第6図 海港図

84 亜欧堂田善 セルマニア廊中の図

東京国立博物館

廊中の意味は、田善が別に「日本橋魚廊図」にも
いっているように、市場の意味である。田善の
「セルマニア廊中の図」は、ロンドン版の「ロー
マ国における大館内跡の図」（二五）と全く逆方向
から描いている。前者ではトライヤヌス帝記念柱
は遙か彼方にみえ、後者では手前左方にみえる。
同主題の銅版画にバリ版もあり、それは田善の作
と同方向から描かれている。その右方がローマ
市場遺跡といわれており、その廢墟に、田善は屋
根をつけて描いている。田善画に直接関係しない
が、他に線遠近法を用いた「ベニスの近代寺院建
築と市場遺址の眺め」（第4図、ロンドン版、
二七）「ベルリン王立廢病院」（第5図）蘇州版か
ら応挙・豊春の「明しよう図」（本文第133図）に、
構成のヒントを与えたと思われる、アムステルダ
ムかロッテルダムあたりの「海港図」（第6図）

などが舶載銅版画としてのこされている。

87 伝歌川国虎 阿蘭陀フランスカノ伽藍之図

東京国立博物館

国貞の「釈迦八相倭文庫初篇上表紙」（日比谷図書
館、本文第86図）と同じように、84でのべたバリ
版やロンドン版のローマ遺址を模した、田善の
「セルマニア廊中の図」の影響こい作品である。
異国風物は次第に日本的なものへとけこもうと
する。

100 亜欧堂田善 三俣之景

田善のグロテスク趣味を指摘される一作である。
初期の「鈴ヶ森」も、この系列に入るが、これら
は、月曜画からきた傾向とも思われる。風をあら
わすのに、彼はしばしば髪の毛の乱れるさまを描
いた。

114 亜欧堂田善 西洋公園之図

東京国立博物館

この図の左位置から、右へひろがる池を描いたの
が、前述のサーヘンティン池（本文第62図）であ
る。西洋公園とは、ロンドンのハイド・パークの
ことである。

135 円山応挙 赤穂浪士討入図

あんどん絵と称する眼鏡絵である。提灯の部分を
きりぬぎ、薄紙をはって、上方からばかりでな
く、絵の背後からも灯りをあて、それをレンズで
のぞきこむ。この手のものは筆者不詳であるがし
ばみられる。

裏表紙カット 原色版第3図「阿蘭陀女人」（豊島屋
版）の題字である。JUFFROUW VAN HOLLAD
とあるが、HOLLANDのNがぬけている。こ
のような誤記は、初期長崎版画にしばしばみる例
で、正確な綴り字として模するよりも、異国情緒
を出すアクセントに用いられたことがわかる。

